



流防協だより

令和4年1月
第57号

一般社団法人

発行:千葉県流通商防犯協力会

千葉市中央区中央3-4-8 コーノスビル7F
TEL.043-224-0893 FAX.043-224-2241
HP <http://www.cppd.jp/>

当法人は、各会員の相互扶助の精神に基づき、団結して防犯対策及び暴力団排除活動並びにパチンコ賞品の合法、適正な流通を推進することにより、会員の健全な経営活動を促進し、かつ、その地位の向上を期することを目的とする。



令和4年 年頭ご挨拶



一般社団法人 千葉県流通商防犯協力会

理事長 三井 勇

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、ご家族ともどもご健勝で輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶びを申し上げます。

また、昨年中、当協力会に賜りました多大なるご支援ご協力に対しまして衷心より御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対する諸対策を進めながら会社の経営に取り組んだ1年となりました。そんな中でも東京オリンピック・パラリンピックが開催され、それに伴う大きな感染拡大はなかったものの、6月下旬ころから始まった第5波は新規感染者数及び入院患者数は過去最大を記録しました。しかし、その後のワクチン接種済者の増加などから8月中旬以降、新規感染者数は減少傾向となり、11月中旬に国の行動制限緩和案が示されて間もなく、強い感染力の持つ新たな変異種が各国で発見され、国内でも変異種による第6波の感染拡大の恐れが叫ばれ、立ち直りを見せていた経済活動に大きな影響を及ぼすものとなっております。

一方、遊技業界では、ワクチン接種済者の増加などによる感染拡大リスクの減少から少しずつ社会に安心感・安堵感が広がり、人々の余暇やレジャー活動が戻ってくるのが期待されましたが、ホールへの遊技客の増加には結び付かず、非常に厳しい状況が続いております。

また、ホールでは、本年1月末に旧規則機の撤去期限を迎え、遊技客の減少に歯止めをかけることができるかが大きな課題となっております。

こうした厳しい現状を踏まえ、当協力会におきま

しても、昨年は会員皆様の経営状況の一助となるよう3か月間の会費免除を実施したところでありますが、引き続き遊技業界の難局を乗りきるために、今できること、目の前のことをひとつひとつやっつけていかなければならないと思っています。

今年の当協力会の取り組むべき課題等につきまして、会員皆様方にご理解をいただきたく、所信の一端を申し述べたいと思います。

課題の1つ目は、新型コロナウイルスの感染症防止対策の徹底です。

当協力会の会員皆様の事業所等におきまして、幸いに新型コロナウイルスのクラスターが発生したとの連絡は受けておりません。これも、会員の皆様が感染症予防対策を徹底していただいた結果であると考えており、皆様方の努力に改めて感謝申し上げます。

ワクチン接種は昨年11月現在、2回接種完了者は国民の75%となり、12月からは追加接種も始まりましたが、新型コロナウイルスの完全な封じ込めが出来るわけではありません。引き続き新たな変異株の動向についても注視しながら、感染予防の徹底を図り日常生活を送らなければならないと考えております。

会員皆様には、ご自身や社員及び家族におきましてマスクの着用、手洗い、「密」の回避や換気といった基本的な感染予防対策の徹底をお願いいたします。

課題の2つ目は、令和5年10月から始まるインボイス制度(適格請求書等保存方法)の導入についての研究と会員の皆様への周知です。

会員の皆様には、昨年6月の総会におきまして1回目

のインボイス制度に関する説明会を実施したところですが、出席できなかった会員の方がおられました。

このインボイス制度の導入は、遊技業界全般にかかわることではありますが、その中でも賞品（景品）買取所については景品流通システムの特殊性から導入に当たっての課題があります。

そこで、既に通知のとおり本年2月3日、千葉商工会議所におきまして2回目となるインボイス制度の研修会開催を予定しております。

会員の皆様には、理解不足のままですと今後の営業に大きな影響を及ぼすおそれがありますので、2回目の研修会には、是非、積極的な参加をお願い致します。

課題の3つ目は、「防犯対策」、「暴力団排除活動」及び「社会貢献による地位向上」のさらなる推進であります。

この三本柱については、設立以降一環として取り組んでまいりました。会員皆様のご尽力とご協力により、着実にその成果を上げてきたところであり、本年以降についても、各種施策を推し進めなければならないと考えております。

まず、防犯対策についてですが、昨年、県内での賞品（景品）買取所を狙った強盗事件等の発生はありませんでしたが、首都圏内では3件の強盗事件が発生しており、いずれも営業時間中を狙った犯行でありました。

会員の皆様には、引き続き、賞品（景品）買取所の従業員への注意喚起を図るとともに、防犯カメラや防犯ブザー等の活用を図るなど、防犯対策に努めていただくようお願い致します。

次に、暴力団排除活動についてですが、昨年1年間において、当協力会会員に対する暴力団の関与

は認められませんでした。しかし、これまで暴力団がみかじめ料の徴取先としてきました風俗店や飲食店等が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経営が悪化し、暴力団の資金獲得活動も厳しい状況に追い込まれております。

こうした状況下では、過去の事例にあるように遊技業界をターゲットにしていくことは十分予想されることから、暴力団の関与を常に意識しておかなければなりません。

さらに、コンプライアンスを高めるとともに、会員相互の情報交換を図り、暴力団排除という社会正義の実現を通じて社会的責任を果たしていきたいと考えております。

次に、社会貢献による地位向上についてであります。当協力会が行っている自治体、社会福祉団体等に対する支援等の社会貢献につきましては、昨年2月1日、千葉県婦性会から法務大臣感謝状を受賞したのをはじめ、各方面から感謝が寄せられました。

こうした継続的な取り組みが、当協力会の社会的地位の向上に繋がっているものと考えております。会員皆様のより一層のご理解とご協力を賜り、本年も、引き続き地域防犯活動、福祉活動等への貢献を通じて地位向上に努めてまいりたいと考えております。

最後となりましたが、本年は冒頭に触れましたとおり当業界を取り巻く環境は年々厳しさを増しているものと認識しておりますが、当協力会会員が一致団結してこの難局を乗り越え、更なる発展に結びつけることができるよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

令和4年 元旦

一般社団法人 千葉県流通商防犯協力会

理事長 三井 勇

副理事長 内田 勝久 副理事長 堀田 豊展

専務理事 吉田 喜幸 理事 小松 昌弘

理事 首藤 紀子 理事 軍司 浩太郎

監事 清原 誠烈

事務局 一同

各種表彰の受賞

法務大臣 感謝状 受賞

当協力会の社会福祉活動に関し、更生保護法人千葉県婦性会から法務大臣感謝状が授与されました。



法務大臣感謝状を受ける三井理事長

その他の 表彰

※ 感謝状の受賞

次の2団体から感謝状を受賞しました。

- 社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
- 社会福祉法人 千葉いのちの電話



令和3年中の社会貢献活動

当協力会は、設立以来一貫して地域に根ざした社会貢献活動を続けております。
令和3年中、当協力会は次の団体が推進している社会福祉活動、慈善事業等に対して支援を行いました。

- ★公益社団法人 千葉県防犯協会
- ★公益財団法人 千葉県暴力団追放県民会議
- ★公益財団法人 千葉日報福祉事業団
- ★公益財団法人 千葉県警察育英会
- ★更生保護法人 千葉県婦性会
- ★社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
- ★社会福祉法人 千葉いのちの電話
- ★千葉犯罪被害者支援センター



公益財団法人千葉日報福祉事業団への寄付
(写真左側三井理事長、右側千葉日報大澤社長)

重要なお知らせ

会員の皆様に、重要なお知らせがあります。

2月3日(木)に**インボイス制度研修会**を開催いたします。
令和5年10月からは、消費税にかかわるインボイス制度が開始されます。この制度は皆様の経営に直結する重要な制度ですから、ぜひ同研修会にご参加ください。

当日は東京国税局担当者からの説明を予定しております。